

「あかしや建友会」様より学生支援のご寄付をいただきました

この度、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、就学困難となった学生の支援措置として「あかしや建友会」様より就学資金30万円(2020年8月20日)のご寄付をいただきました。「あかしや建友会」様(会長: 浦恵親18回卒、企画幹事: 柳啓19回卒、会計幹事: 水上崇22回卒、会員30数名)は、1993(平成5)年、故福地利夫名誉教授のご提案のもと、工学部建築材料研究室(5研究室: 幸田太一先生、福地利夫先生、小栗治男先生、橋本寛先生、渡澤正典先生)のOB・関係者が集う会として設立されました。当会は、1994年の第1回開催から工学部及び工学部校友会からの支援のもとで、これまでに20回の会合が開催されてきました。本会合は講演会が主体で、会員による建築(材料、構造、計画、設備)に関するホットな話題と、建築学科教員の研究内容を講演テーマに取り上げ、広く一般の方々の参加を募り、約500名が聴講しています。「あかしや建友会」様のご寄付くださった支援金につきましては、今後とも学生の就学資金として有効に活用させていただきます。

ご支援への感謝とともに、会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和3年度第64回日本大学工学部学術研究報告会を開催しました

12月4日(土)、令和3年度第64回日本大学工学部学術研究報告会を「オンデマンド型配信」(学内公開限定)で開催しました。土木工学部会17件、建築学部会21件、機械工学部会19件、電気電子工学部会22件、生命応用化学部会14件、情報工学部会38件、総合教育部会(自然科学/人文・社会科学)4件、教育に関する部会3件の研究報告があり、オンライン上で活発な意見交換が繰り広げられ、有意義な研究発表の場となりました。

第21回産・学・官連携フォーラムを開催しました

12月6日(月)、工学部62号館(ハットNE)3階大講堂にて、公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構との共催による「第21回産・学・官連携フォーラム」を開催しました。「アフターコロナに向けたIT技術」と題し、新たな時代のIT技術とその利活用について様々な視点で講演していただきました。産官連携により福島県のDX(デジタルトランスフォーメーション)化が加速することに大いに期待が高まっています。

第12回福島地区CEセミナーにて「頭発表優秀賞」を受賞しました

12月18日(土)に、郡山市ビッグアイで開催された第12回福島地区CEセミナー(福島化学工学懇話会主催)において、環境化学工学研究室(指導教員: 児玉大輔准教授)に所属する生命応用化学専攻博士前期課程1年の相内佑太さん(写真左)と鈴木輝輝さん(写真右)が口頭発表優秀賞を受賞しました。地球温暖化対策につながるCO₂分離回収に関する研究成果が高く評価されました。

令和3年度 学・協会賞等受賞者に対する表彰

1月20日(木)、令和3年度 学・協会賞等受賞者に対する表彰式を行いました。

所属	資格・氏名	授賞学・協会名	受賞年月日	受賞名
土木工学科	教授 / 岩城 一郎	公益社団法人 日本材料学会	令和3年5月29日	令和2年度日本材料学会支部功労賞
土木工学科	教授 / 岩城 一郎	公益社団法人 日本コンクリート工学会	令和3年6月16日	2021年日本コンクリート工学会賞(功労賞)
土木工学科	教授 / 中野 和典	環境省	令和3年11月12日	FUKUSHIMA NEXT 奨励賞
土木工学科	准教授 / 梅田 信	公益社団法人 土木学会 水工学委員会	令和3年6月8日	アウトスタンディング・ディスカッション賞
建築学科	教授 / 浦部 智義	一般社団法人 日本ログハウス協会	令和3年6月11日	令和3年度ログハウス建築コンテスト優秀賞(公益財団法人日本住宅・木材技術センター理事長賞)
建築学科	教授 / 浦部 智義	NPO法人キッズデザイン協議会	令和3年9月29日	2021年 キッズデザイン賞優秀賞(少子化対策担当大臣賞)
建築学科	教授 / 速水 清孝	一般社団法人 日本建築学会	令和3年5月31日	2021年日本建築学会賞(論文)
総合教育	准教授 / 高木 秀有	一般社団法人 軽金属学会	令和3年11月13日	第20回軽金属躍進賞

未来へ語り継ぎたいものがある

工学部広報

2022 No.264 令和4年3月25日

編集: 日本大学工学部広報委員会
発行: 日本大学工学部 TEL.(024) 956-8618
〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1
https://www.ce.nihon-u.ac.jp E-mail: ceb.koho@nihon-u.ac.jp
ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお寄せください。



環境にやさしい植物性インク「VEGETABLE OIL INK」が採用されています。
この印刷物は再生紙を使用しております。

No.264
2022.3.25



自主創造

未来へ語り継ぎたいものがある

工学部広報

体育祭2021を開催しました

12月19日(日)、工学部体育館にて北桜実行委員会が企画した体育祭を開催しました。10チーム約90名の有志が参加し、当日はバスケットボール・バレーボール・ドッジボール・リレーの4種目を競い、優勝をかけて熱い戦いが繰り広げられました。3年生中心のハンドボール部・ソフトテニス部の合同チーム「piropiro_re」が見事総合優勝に輝きました。



工学部体育会が歳末助け合い運動募金を寄付しました

工学部体育会は、12月20日(月)に社会福祉法人郡山市社会福祉協議会を訪れ、歳末助け合い運動募金として62,930円を郡山市共同募金委員会に寄付を行いました。昭和45年から実施してきた募金活動による寄付は、令和3年度で累計45,412,022円となりました。皆様方の温かいご支援、ご協力に感謝申し上げます。



令和3年度外国人留学生交流会

1月22日(土)、工学部62号館(ハットNE)3階大講堂にて、留学生同士や留学生と日本人学生との交流を目的とした交流会を実施しました。本交流会は異文化コミュニケーション研究会とジャグリング部が企画・運営の中心となり、当日は、留学生7名、日本人学生16名、教職員7名が参加。ジャグリング体験、自己紹介&対談、メンク作成及び対決などのゲームを楽しみながら、国籍や学科年を越えて交流を深めました。



共同研究論文がOptics ExpressのEditors' Pickとして掲載されました

総合教育(物理) 神馬洋司准教授と国立研究開発法人 物質・材料研究機構(NIMS)との共同研究の論文「Breaking the interband detectivity limit with metasurface multi-quantum-well infrared photodetectors」が、米国OSAが発行する学術雑誌Optics ExpressのEditors' Pickに選出されWEBサイトに掲載されました。



令和3年度 日本大学工学部卒業生・大学院工学研究科修了生

卒業特集号



Contents

- 祝辞 P1-2
- 4年間のできごと P1-2
- 令和3年度卒業式表彰者 P3-4
- 卒業生・修了生の活躍 P5-6
- 将来の夢 P7-9
- 令和3年度卒業研究発表会 P10
- 工学部だより P11

祝辞

日々精進し「ロハス
社会で活躍される日本大学工学部長
根本 修克

工学部の卒業生ならびに大学院工学研究科の修了生のみならず、ご卒業・修了に心よりお祝い申し上げます。また、長年にわたり卒業生・修了生をご支援頂きました保護者やご家族の皆様にも厚く御礼申し上げますとともに心からお慶び申し上げます。

振り返りますと、みなさんの学生生活は自然災害の影響を大きく受けてきました。令和元年の台風19号による大規模水害の際は、工学部キャンパスが被災するとともに、数多くの卒業生・修了生のみならず自身も被災し、大変なご苦労があったことと思います。また、大規模水害後の工学部キャンパス全面復旧に向けた活動の際には、多くの卒業生・修了生のみならず教職員とともに協力して頂きましたことに御礼申し上げます。併せて、卒業生・修了生のみならず校友や地域・社会の皆様から賜りましたご支援に対する感謝を決して忘れないでください。卒業生・修了生のみならず、今後は120万人を超える日本大学校友の一員となり、その強い絆が社会においてもみなさんの支えになることと思います。同時に、日本大学校友の一員として在学生へのご支援を賜りたく、卒業生・修了生のみならずにもご協力をお願いいたします。

さらに、大規模水害被災後に、水害発生メカニズムの解明や被災時の避難経路などについて検証し、地域の防災・減災に向けた安全な生活環境の構築に寄与するために立ち上げた「キャンパ

エンジニア」として
ことを祈念しております

ス強靱化プロジェクト」に教職員とともに参画した学生のみならずにとりましては、「キャンパス強靱化プロジェクト」は地域貢献に繋がる貴重な経験を積む機会になったことと思います。地域の発展に寄与する卒業生や修了生の輩出を一つの大きな使命と位置づけている工学部としても、地域貢献に繋がる研究に従事されたみなさんを誇りに思うとともに、みなさんの今後の益々のご活躍を期待しております。

令和元年の大規模水害からの復旧が進む一方で、令和2年からは、新型コロナウイルス感染症が拡大し、工学部では感染症拡大防止対策を講じながら教育・研究活動を行ってきましたが、みなさんの学生生活は、順風満帆ではなかったと思います。しかし、そのような状況で結ばれた仲間との絆は、より強固になります。本学とともに学んだことに誇りを持ち、育んだ絆をみなさんの財産として今後も大切にしてください。その一方で、専門分野に関わらず、通常の学生生活では学ぶ機会に恵まれなかったIT技術をはじめとするさまざまな知識や技術の修得にも繋がったことと思いますので、今後、みなさんが修得した知識や技術を社会で活用してください。

現在も新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たず、世界中が困難な状況にあります。このような時こそ、工学部で学

んだ「ロハス工学」は、工学のさまざまな専門分野の礎となりうる概念を持つだけでなく、社会の発展のために不可欠な学問です。「ロハス工学」に関わる知識や技術を学び、各自の専門分野において「ロハス工学」に関わる研究に取り組み、研鑽を積んできたみなさんは、「ロハスエンジニア」として、これからの時代を牽引し社会に貢献する人材であると確信しています。

130年以上の歴史と伝統を誇る日本大学の教育理念は「自主創造」です。先行き不透明な時代を生き抜くために、自ら道を切り拓く能力が必要です。また、社会において遭遇するさまざまな試練を乗り越えるためには、強い志が必要です。さらに、正直で誠実であることや省察力は技術者・研究者として必要不可欠な資質です。一方で、謙虚に自己を振り返り、自己を高めながらも、保護者やご家族の皆様あるいは友人などの自らを支えてきて頂いた方々への感謝を忘れず、これから出会う方々に対しても謙虚な気持ちと感謝を持って接していくことを心がけてください。

結びに、新しい技術を生み出すためには、一意専心の強い志と不断の努力が必要です。卒業生・修了生のみならず、継続的に日々精進し「ロハスエンジニア」として社会で活躍されることを祈念し、卒業生・修了生へのはなむけの言葉とします。

4年間のできごと



令和3年度 卒業式表彰者



日本大学学長賞(学業部門)

佐竹 祐里奈(情報工学科)

日本大学優等賞

石 本 晃 輝(土木工学科)	吉 田 奈 未(建築学科)	會 田 桃 子(生命応用化学科)
草 野 祐 希(土木工学科)	勝間田 侑 輝(機械工学科)	佐 竹 祐里奈(情報工学科)
斎 藤 有 沙(土木工学科)	根 元 凌(機械工学科)	佐 藤 貴 大(情報工学科)
鈴 木 康 太(建築学科)	佐 藤 慎 寿(電気電子工学科)	村 上 正 人(情報工学科)
吉 澤 伊 代(建築学科)	福 井 雄 大(電気電子工学科)	

工学部長賞 学術・文化部門(個人)

川崎 浩長(建築学専攻)

■2021年11月10日 一般社団法人日本建築学会
2021年度日本建築学会大会(東海)学術講演会の材料施工部門において若手優秀発表賞を受賞
【発表題目】「バクテリアを添加したモルタルのひび割れ自己治癒性能に関する基礎的検討」

伊藤 響介(建築学科)

■2021年10月29日 公益社団法人日本建築家協会東北支部
第25回日本建築家協会(JIA)東北建築学生賞審査会において優秀賞を受賞
【出展作品】「鼓舞するハレとケへ伝統芸能の継承による町の活性化へ」

米山 俊也(建築学科)

■2021年10月29日 公益社団法人日本建築家協会東北支部
第25回日本建築家協会(JIA)東北建築学生賞審査会において奨励賞(東北専門新聞連盟賞)を受賞
【出展作品】「蓮池をめぐる木の空間—郊外型コミュニティガーデン—」

工学部長賞 学術・文化部門(団体)

Lohas ProLab(ロハス プロラボ)

■2022年2月10日 メディカルクリエイションふくしま実行委員会(一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構)
第2回創生アイデアコンテストinメディカルクリエイションふくしま2021において最優秀賞を受賞
【発表題目】「視覚障がい者のためのエコーロケーション装置」

望月 涼太(機械工学専攻)

■2021年7月16日 公益社団法人自動車技術会
2021年自動車技術会春季大会学生ポスターセッション第2回ポスターセッションにおいて優秀賞を受賞
【発表題目】「胸部傷害評価のための骨折する人体ダミーの構築」

鈴木 静華(電気電子工学専攻)

■2021年12月2日及び3日 公益社団法人応用物理学会東北支部
2021年応用物理学会東北支部第76回学術講演会において支部講演奨励賞を受賞
【発表題目】「Eu:Y₂O₃蛍光体薄膜における濃度消光のデータ予測」

豊川 菜那(生命応用化学科)

■2021年10月3日 公益社団法人日本化学会東北支部
2021年度化学系学協会東北大会ポスターセッションの化学工学セッションにおいて優秀ポスター賞を受賞
【発表題目】「イミダゾリウム系混合イオン液体のガラス転移温度」

工学部長賞 体育部門(個人)

馬崎 稜也(機械工学科)

■2019年12月23日 東北学生テニス連盟
令和元年度第49回東北学生選抜室内テニス選手権大会の男子複において優勝
■2021年7月14日 東北学生テニス連盟
令和3年度東北学生テニス夏季トーナメント大会の男子複において優勝
■2021年12月20日 東北学生テニス連盟
令和3年度第51回東北学生選抜室内テニス選手権大会の男子複において優勝

工学部校友会賞

奥田 真翔(電気電子工学科)
体育会第52代委員長

大野 雅浩(生命応用化学科)
北桜実行委員会令和2年度委員長

南部 光亮(情報工学科)
全学文化行事(NU祭)実行委員会令和2年度及び3年度委員長

須永 圭佑(電気電子工学科)
学術文化サークル連合会第48代委員長

角本 佳駿(建築学科)
応援団第65代團長

学会賞等受賞者

斎藤賞(修士論文)

印南 衣梨(建築学専攻)

指導教員:森山 修治 教授
「令和元年東日本台風に伴う洪水時の避難安全性に関する研究—日本大学工学部の学生の避難安全確保手段について—」

北桜賞(修士論文)

栗嶋 壱(建築学専攻)

指導教員:Buntara S. G. 教授
「折り紙の創生と展開に関する解析的研究」

桜建賞(卒業論文)

河合 奎亮(建築学科)

指導教員:Sanjay PAREEK 教授
「脱炭素社会の実現を目指した二酸化炭素固定化コンクリート(CCC)の開発—高圧注入試験装置を用いた真空時間、CO₂の注入圧力及び中性化時間による検討—」

厚海 聖雅(建築学科) 内野 海久斗(建築学科)

佐藤 温起(建築学科)

指導教員:堀川 真之 専任講師
「地震により被災したRC造建物の復旧時間の推定に関する基礎的研究」

平本 奈波(建築学科)

指導教員:浦部 智義 教授
「多目的ホールの建築計画に関する研究—その1 21世紀に開館した大規模ホールの舞台まわりの寸法に着目して—」

吉澤 伊代(建築学科)

指導教員:市岡 綾子 専任講師
「市民に開かれた庁舎建築に関する研究—東日本大震災後における福島県内の新築庁舎—」

桜建賞(卒業設計)

山口 和紀(建築学科)

指導教員:浦部 智義 教授
「峠の集落—小さな建築の大きな役割—」

公益社団法人日本臨床工学技士会
「理事長奨励賞」

武藤 大(機械工学科)

指導教員:片岡 則之 教授
柳澤 海斗(電気電子工学科)
指導教員:村山 嘉延 准教授

一般社団法人日本機械学会「三浦賞」

望月 涼太(機械工学専攻)

指導教員:西本 哲也 教授

公益社団法人自動車技術会
「2021年度大学院研究奨励賞」

石成 泰隆(機械工学専攻)

指導教員:西本 哲也 教授

一般社団法人日本機械学会「畠山賞」

根元 凌(機械工学科)

指導教員:武藤 伸洋 教授、今林 亘 助教
勝間田 侑輝(機械工学科)
指導教員:齋藤 明徳 教授

一般社団法人電子情報通信学会東北支部
「優秀学生表彰」

山中 英(電気電子工学専攻)

指導教員:石川 博康 教授

一般社団法人電気学会東北支部
「優秀学生賞」

鈴木 静華(電気電子工学専攻)

指導教員:高橋 竜太 准教授

卒業生・修了生の活躍

地域に貢献しました！

『まち全体を図書館に』の活動を通して まちのにぎわいを創出

建築学科4年 橋本 悠衣さん(福島県・郡山高校出身)
建築学科4年 横山 漢太さん(山形県・山形工業高校出身)

住環境計画研究室(指導教員:市岡綾子専任講師)

私たちの研究室が中心となって、地元の方々のご協力により、矢吹町観光案内所など町内4か所に誰でも自由に図書を利用できる本棚を設置し、本との出会いを求めた人々とまちが交流する活動に取り組みました。人々の笑顔に触れて地域に貢献することができ、貴重な経験になりました。



学・協会発表で受賞しました！

JIA福島地域会賞(公益社団法人日本建築家協会東北支部福島地域会)を受賞

建築学科4年 朝比奈 登亜さん
(静岡県・島田工業高校出身)

建築・地域計画研究室
(指導教員:宮崎歩専任講師)

『農落—お茶を嗜む、これからの茶業の在り方—』で既存の建築物をコンバージョンし、お茶農家と消費者等が体験を通じてお茶を嗜み、お茶文化を認識しながら共助する、新たなお茶農業モデルを提案。高校から建築を学び、集大成として取り組んだ作品をプロの建築家の方々に評価していただき大変栄光でした。

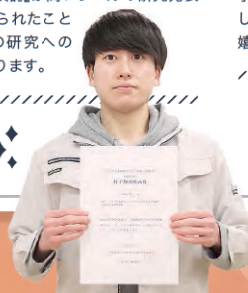


2021年度日本建築学会大会(東海)学術講演会若手優秀発表賞(材料施工部門)を受賞

建築学専攻博士前期課程2年 川崎 浩長さん(岩手県・釜石高校出身)

鉄筋コンクリート(RC)構造・材料研究室
(指導教員:Sanjay PAREEK教授)

これまで研究室で行った試験方法を改善し、正確な実験結果を得るとともに、バクテリアの添加量によるモルタルのひび割れの修復度合いを明らかにしました。この「バクテリアを添加したモルタルのひび割れ自己治癒性能に関する基礎的検討」が高いレベルの研究発表だと認められたことは、今後の研究への励みになります。



2021年応用物理学会東北支部第76回学術講演会、支部講演奨励賞を受賞

電気電子工学専攻博士前期課程2年 鈴木 静華さん(静岡県・第一学院高校出身)

薄膜機能材料研究室
(指導教員:高橋電太准教授)

『EuY₂O₇蛍光体薄膜における濃度消光のデータ予測』でコンビナトリアルパルスレーザー堆積(PLD)手法と統計学の計算手法であるベイズ最適化を組み合わせることで、蛍光体の材料開発に有効であることを明らかにしました。学外での口頭発表は初めてでしたが、賞をいただけて大変嬉しく思います。



教員採用試験に合格しました！

工学部で培った知見を活かして生徒の未来に夢を与えられる教師になりたい

土木工学科4年 佐藤 翔哉さん(新潟県・柏崎高校出身)

教員に必要な知識だけでなく、工学知識も学べることは工学部で教員を目指すメリットだと思います。両立させるのは大変でしたが、努力の末、小学生の頃からの夢を叶えることができました。生徒の良さを引き出し、伸ばせる教師になり、生徒の未来に夢を与えたいと思います。



新潟県採用
中学校・技術

誰からも信頼される教師になるために 自分自身も学び続けることが大切

機械工学科4年 高橋 優さん(福島県・福島工業高校出身)

高校で体験したもののづくりの楽しさや達成感を多くの人に伝えたいと思い、教員を目指しました。そのために深く学ぶ必要がありましたが、工学部で知識をしっかりと叩き込むことができ、持続力も身につきました。これからも学び続け、生徒と共に成長していきたいです。

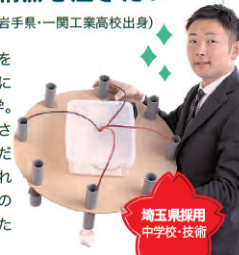


茨城県採用
高校・工業

教員の仕事に使命感や誇りを持ち 子どもたちに熱い情熱を注ぎたい

機械工学科4年 千葉 圭介さん(岩手県・一関工業高校出身)

時代の変化に対応できる力を養い、未来を考えられる教員になりたいと思い工学部に進学。エネルギーや環境問題が危惧される中、「ロハス工学」を学んだ意義は大きいと思います。これからは、教育の専門家としての力量と総合的な人間力を備えた教員を目指していきます。



埼玉県採用
中学校・技術

ものづくりの面白さを伝え 感性豊かな子どもを育成できる教師を目指す

機械工学科4年 根元 凌さん(宮城県・白石高校出身)

卒業研究ではロボット制御に関する研究に取り組みました。身につけたスキルの高いプログラミングの知識は、中学校の技術の授業でも大いに役立つと思います。同じ道を歩む先輩である父のように、生徒のために全力を注ぎ、熱意を持って接する理想の教師を目指します。



宮城県採用
中学校・技術

高い専門性と豊かな知識と 人間性を身につけた教員になるために

生命応用化学科4年 高野 和樹さん(福島県・福島商業高校出身)

理科の授業を通じて、あらゆることに対して「なぜ?」と考えられる生徒を育てたいと思っています。教職課程を履修しなければ得ることができなかった知識や考えがたくさんあります。自らも学び続ける姿勢を忘れず、様々な考えや視点を持って生徒に向き合っていきたいです。



茨城県採用
中学校・理科

宅地建物取引士試験に合格しました！

建築に関わる仕事をする上で役立つ資格 次は二級建築士を目指して

建築学科4年 福田 健人さん(神奈川県・駒場東邦高校出身)

将来の選択肢を増やすために、「宅建」に挑戦しました。合格したことは自信になり、二級建築士の取得を目指すモチベーションにもつながっています。資格を持つことに損はありません。将来は宅建の資格を活かして、デベロッパーの仕事に就きたいと考えています。





五洋建設株式会社に就職

土木工学科4年 環境生態工学研究室
小林 亮介さん (静岡県・焼津中央高校出身)

「海・砂漠・ジャングルに人々の暮らしを豊かにする構造物を建てたい」

環境工学を学びたいと思い、土木工学科に進学。専門的な知識に加え、土木と環境の繋がりについても深く知ることができました。将来は海外で働きたいと考えていたので、タイやイギリスへの留学のほか、大学4年間で様々なことにチャレンジしました。それが採用の決め手に繋がったと思います。夢は、海や砂漠、ジャングルなど、世界のフィールドに構造物を建てること。人々の生活を豊かにできる技術者を目指します。



国土交通省 北陸地方整備局に就職

土木工学科4年 環境生態工学研究室
吉田 遥さん (新潟県・新津高校出身)

「地元の道路や河川の土木事業に貢献したい」

入学当初から意願だった環境生態工学研究室に所属し、同じ目標を持った仲間と研究できたことが、大学生活での一番の思い出です。国家公務員を目指したのは、国道や一級河川の整備に携われることに魅力を感じたからです。中でも、災害時に活躍するTEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の活動に興味を持ちました。昨今、国家公務員に限らず、土木技術者として女性が活躍できる場も広がっているのを、力を発揮できるように頑張ります。



株式会社ネクソ・エンジニアリング東北に就職

機械工学科4年 バイオメカニクス研究室
伊藤 光さん (新潟県・佐渡総合高校出身)

「車社会に必要な不可欠な高速道路の安全を守るために」

もともと車やバイクが好きで機械工学科に入りましたが、学んでいくうちに将来の道も幅広い分野があることを知りました。高速道路路上での事故に関する研究に携わり、インフラを支える高速道路事業の重要性を実感。高速道路から社会を支えたいという思いを胸に、この会社で日々新しいことに挑戦していきたいと考えています。大学でかけがえのない仲間に出会えたこと、研究に没頭できたことは、私にとって大切な財産になりました。



スズキ株式会社に就職

機械工学科4年 計測・診断システム研究室
横田川 柊さん (静岡県・島田工業高校出身)

「自動車関連企業で地元貢献し海外で活躍することが目標」

将来の夢は、地元の静岡県で自動車関連企業に就職することでした。大学に入ってから興味を持った生産技術の仕事に就き、海外で活躍できるチャンスも多くあると考えて、この会社を志望しました。就活の成功の秘訣は、大学時代にこれをやったと自信を持って言えること。私の場合はサークル活動がアピールポイントになりました。機械工学科で学んだ知識を活かして社会に貢献し、海外でも活躍できるようにチャレンジしていきたいです。



希望の就職を叶えた先輩たちが語る

Dream for the future

将来の夢



森平舞台機構株式会社に就職

建築学科4年 建築計画研究室
平本 奈波さん (神奈川県・麻溝台高校出身)

「大規模な仕掛けのある舞台をつくりたい」
その夢に一步近づけた喜びを胸に

ミュージカルなどの舞台を観るのが好きで、将来は劇場に関わる仕事に就きたいと思い建築学科に進みました。その分野を専門的に研究されている教授のもと、多目的ホールの建築計画に関する研究に取り組みました。実際に57か所のホールのデータを分析し、廻り舞台やセリがある大規模な仕掛けのある舞台をつくりたいという思いが益々強くなりました。教授からご紹介いただいた企業への採用が決まり、その夢に一步近づくことができ大変嬉しいです。

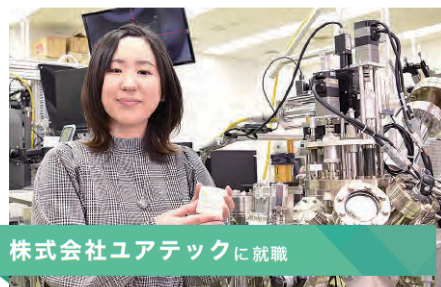


株式会社竹中工務店に就職

建築学科4年 振動システム研究室
門馬 澁樹さん (福島県・福島工業高校出身)

「一級建築士などの資格を取得し
大きな建設現場の所長になりたい」

より専門的な建築の知識を身につけるために工学部に進学。構造設計に力を入れている研究室があることも魅力でした。将来の仕事として施工管理も視野に入れて、大手ゼネコン3社のインターンシップに参加。その中で社員の方の生き生きとした姿に惹かれて、この会社を志望しました。自己PR動画での大胆な演出、面接での明るさや礼儀正しさが評価されたと思います。目標は、大きな建設現場を任されるような所長になることです。



株式会社ユアテックに就職

電気電子工学科4年 薄膜機能材料研究室
草野 楓さん (福島県・清陵情報高校出身)

「技術系の資格を活かして
地域や社会に貢献できる女性技術者に」

東日本大震災を経験し、ライフラインを支える電気の大切さを感じたことから、電気エネルギーに関わる仕事に就くために工学部に入学。電気分野の知識だけでなく、コミュニケーション能力や協調性も身につけることができました。私自身、女性技術者として働けるかどうか不安もありましたが、就職指導委員の先生に相談したことで道が拓けました。後悔しないように、自分が一番やりたい道に進むことが大事だと思います。



NECプラットフォームズ株式会社に就職

電気電子工学科4年 光工学研究室
佐藤 慎寿さん (福島県・福島工業高校出身)

「ものづくりを通して社会をよりよく
豊かにできるエンジニアを目指して」

ものづくりの仕事に携わりたいと考え、興味のある通信機器やICT分野に特化した企業を志望しました。授業でのワークショップや研究室での交流などを通して培ったコミュニケーション能力と自己表現力は、就活での武器になったと思います。開発職を希望していますが、まずは人から尊敬され、頼りにされる社会人になることが目標です。そして、社会をよりよく、豊かにしていけるようなエンジニアを目指します。



東芝エネルギーシステムズ株式会社に就職

生命応用化学専攻博士前期課程2年 光エネルギー変換研究室
高橋 成さん(福島県・福島高校出身)

「環境やエネルギー問題解決に貢献し
将来はベンチャーを立ち上げたい」

生物系の学びに興味があり生命応用化学科に進みましたが、研究者よりも技術者になりたいと考え、大学院では装置設計に携われる研究室に所属しました。環境やエネルギー問題に高い関心があり、その問題解決に貢献するために電力関連事業を行う会社を志望。大規模プロジェクトに携わってみたいと思ったことも理由の一つです。様々なプロジェクトでの経験や実績を積んで、将来は社内ベンチャーを立ち上げたいと考えています。



AGCエレクトロニクス株式会社に就職

生命応用化学専攻博士前期課程2年 生体材料工学研究室
室野井 実紀さん(福島県・安達高校出身)

「ものづくりを通して人々の生活を
豊かにしたい」

私たちの身の回りにあるもの全てが化学物質でできている。だから、化学を学ぶことで幅広いフィールドで活躍できると思いました。高分子材料の研究開発を通して、効率よく実験を進める計画性や、ものづくりに対する「探求心」、「問題解決能力」、「プレゼンテーション能力」を身につけることができ、自分に自信が持てるようになりました。地元福島から世界の人の役に立ちたいという思いを貫き、社会に貢献していきたいです。

希望の就職を叶えた
先輩たちが語る

将来の夢



凸版印刷株式会社に就職

情報工学科4年 次世代マルチメディアシステム研究室
亀岡 志織さん(福島県・福島西高校出身)

「VRやARを用いたサービスの開発に
携われるようになることが夢」

当初、IT系の会社に絞って就活を進めていた中で、研究室の教授に紹介していただいたのをきっかけに、この会社に興味を持ちました。志望の決め手は、幅広い事業を展開し、様々な分野の技術や人と関わりながら仕事ができる点に面白さを感じたからです。学校推薦を活用することで、第一志望の会社集中して対策できたことは大きなメリットでした。将来、興味のあるVRやARを用いたサービスの開発に携われるようにしたいです。



東芝デジタルソリューションズ株式会社に就職

情報工学科4年 視覚応用画像システム研究室
柳堀 輝さん(茨城県・土浦日本大学高校出身)

「的確な課題解決策を導き出し
ソリューションとしての価値を高める」

情報工学科には自分の可能性を広げてくれる環境があり、研究活動では物事の本質・仕組みを理解することの重要性を学びました。情報工学の力で社会をどう変えたいかを考えた結果、システムインテグレーション・IoT/AI事業を展開するこの会社で、システムエンジニアとして働くことを志すようになりました。これまでに学んだことを活かして、お客様の課題に対する的確な解決策を導き出し、ソリューションとしての価値を創り出せる人材を目指します。

Graduation Feature
卒業特集

令和3年度

卒業研究発表会

卒業研究発表会

2月7日(月)、70号館にて全学科「卒業研究発表会」を行いました。発表を終えた学生たちは晴れぱれとした笑顔で記念撮影。みんな達成感に満ち溢れているようでした。



緊張しながら、
1年間取り組んできた
研究成果を発表！



今日はみんなの
晴れ舞台！

「みんな、よく頑張った！」
「先生ありがとうございました！」

卒業設計展

建築学科では2月5日(土)・7日(月)・8日(火)に70号館1階講義室にて令和3年度卒業設計展を開催。44作品の中から学内審査で選ばれた13名の学生によるプレゼンテーションも実施しました。



山口和紀さんが
桜建賞に
輝きました！

修士論文発表会

2月12日(土)、70号館にて修士論文発表会が行われました。学部・大学院とあわせて3年間の研究の集大成を発表。先生方の質問にも堂々と答える姿は頼もしく映りました。



切磋琢磨してきた仲間との
思い出いっぱい！

土木工学科の
学術研究発表会優秀発表者に選ばれた
神戸智志さんが表彰されました！